

資料2-2

令和2年度大阪府債発行計画(案)について

(単位:億円)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計						
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	1,200	下半期発行額 市場公募債と銀行等引受債 合計:2,700億円±α						6,300						
	5年	200	200	200	200	200	200	1,200													
銀行等引受債	証券 5年			100				100													
	証書			200				200													
フレックス枠		900±α																			
共同発行債	10年	800														800					
合 計																7,100					



(単位:億円)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合 計
市場公募債	10年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200	5,700
	5年	200	200	200	200	200	200	1,200	200	200	200	200	200	200	1,200	
銀行等引受債	証券 5年			100				100	100		100				200	
	証書			200				200	200		200				400	
フレックス枠		900+α														900+α
共同発行債		800+β														800+β
合 計																7,400+α+β

(注)本計画は、民間資金にかかる月別の発行予定額であり、市場環境等により変更する場合がある  
α及びβ:変動要素であり、合計500億円程度を見込む

【発行額の基本的な考え方】

- ① 市場公募債 本府の基幹債である10年及び5年は、両年限とも毎月200億円を平準発行
- ② フレックス枠 今後の税込減等により、発行額を増額する可能性がある
- ③ 共同発行債 今後の税込減等により、発行額を増額する可能性がある